

令和元年度 事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

公益財団法人永井科学技術財団の令和元年度(平成31年4月1日～令和2年3月31日)期間における理事長の業務執行および事業内容について、以下のとおりご報告いたします。

1. 「平成30年度事業報告・決算報告」に関する事項

理事長は、平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の事業報告、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書・同内訳表、財務諸表に対する注記および平成31年3月31日現在財産目録の各案を作成し、平成31年4月23日に監事の監査・承認を受け、同日付で監査報告書を受領した。

なお、本内容は5月の理事会および6月の評議員会に付議された。

2. 「理事会」に関する事項

理事長は、令和元年5月8日付にて各理事に対し、下記の第1号から第4号の決議事項を提案し、令和元年5月15日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案全議案は原案どおり承認可決された。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

決議事項

第1号議案 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)事業報告案の承認

第2号議案 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および同内訳表、財務諸表に対する注記ならびに平成31年3月31日現在財産目録案の承認

第3号議案 定時評議員会の招集

令和元年6月12日にホテルオークラレストラン(名古屋市内)において、次の報告および議案審議のため定時評議員会を招集

報告事項 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)事業報告

議案事項 (1) 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および平成31年3月31日現在財産目録案の承認

3. 「定時評議員会」に関する事項

理事長は、令和元年5月15日の理事会決議事項の承認をもって同5月21日付にて定時評議員会を招集した。これにより、令和元年6月12日に定時評議員会が開催され、評議員(8名)出席のもと下記報告事項および第1号の決議事項について

審議された。結果、提出された報告事項および各決議事項は原案どおり承認可決され、同日付で定時評議員会議事録を作成した。

決議事項

報告事項 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)事業報告

決議事項

第1号議案 平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書および平成31年3月31日現在財産目録案の承認

4. 2019年度上期「国際交流助成金」、「大学院生海外研修助成金」および「科学技術育成教育助成金」に関する事項

本件については、2019年4月1日～同年5月8日まで、当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、以下の応募申請を受け付けた。

- 1) 国際交流助成金・・・・・・・・ 5件
- 2) 大学院生海外研修助成金・・・・ 10件
- 3) 科学技術育成教育助成金・・・・ 5件

5. 「選考委員会による助成審査および審議結果」に関する事項

本件については、前項における2019年度上期の国際交流助成金、大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金応募申請20件について、令和元年5月23日に選考委員会を開催し、各選考委員の審議・審査の結果、以下の17件が採択され、理事会に付議することで決定された。

① 2019年度上期国際交流助成金

本件は、豊橋技術科学大学 荒川 優樹(第15回欧州液晶国際会議で研究発表)はじめ申請4件を採択

② 2019年度上期大学院生海外研修助成金

本件は、名古屋大学 辻 泰隆(生体医工学分野の国際会議(IEEE EMBC 2019)にて研究発表・調査)はじめ申請8件を採択

③ 2019年度上期科学技術育成教育助成金

本件は、スーパーサイエンス・ハイスクール(SSH)東海フェスタ2019(SSH指定高校生による科学技術の研究発表等および情報交流会)実行委員会はじめ申請5件を採択

なお、同日付で、選考委員長より審議結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

6. 「助成金交付決定理事会」に関する事項

理事長は、前項の選考委員会の決定を受けて、令和元年5月28日付にて各理事に対し、下記の報告事項および決議事項を提案し、令和元年6月6日までに理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、提案議案は原案どおり承認可決された。

なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

報告事項 2019年度上期 国際交流助成金、大学院生海外研修助成金および
科学技術育成教育助成金交付選考

議 案 2019年度上期 国際交流助成金、大学院生海外研修助成金および
科学技術育成教育助成金交付承認

助成金額については、以下の総額420万円と決定した。

- 1) 国際交流助成金は豊橋技術科学大学 荒川 優樹はじめ4名に対し
計120万円の助成
- 2) 大学院生海外研修助成金は、名古屋大学 辻 泰隆はじめ8名に対
し計110万円の助成
- 3) 科学技術育成教育助成金は、スーパーサイエンス・ハイスクール
(SSH)東海フェスタ2019実行委員会はじめ5件に対し
計190万円の助成

7. 「2019年度上期各助成金交付」に関する事項

本件については、令和元年6月6日の理事会決議に基づき、2019年度上期
国際交流助成金(4名)、大学院生海外研修助成金(8名)および科学技術育成教育
助成金(5件)の各助成先に対し、助成金交付決定通知を行うとともに、助成金交付
申請書の提出を求め、その申請に基づき渡航日または開催日の1ヵ月前までとして
助成金を交付した。なお、交付決定者の中で、村田 芳明氏は交付辞退届出書を
提出したため、交付を中止した。当上期以降に発生するものについては、下期
での交付となる。

8. 受賞者交歓会の開催に関する事項

理事長は、当財団事業の一つである「令和元年度受賞者講演・交歓会」について
令和元年10月31日に名古屋市内の「ホテル ルブラ王山」で開催することを同年
9月2日に決定し、同年9月5日付にて前年度までの受賞者他関係各位へ案内した。

なお、講演会の講演者および演題は以下のとおりである。

- 1) 受賞者講演：増田 佳丈氏
(産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 研究グループ長)
演題：「液相結晶成長による微細構造セラミックス素形材の開発」
- 2) 特別講演：川合 眞紀氏
(自然科学研究機構 分子科学研究所 所長)
演題：「表面科学と単一分子分光固体表面上での化学反応の研究」

9. 2019年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金および 同年度下期大学院生海外研修助成金・科学技術育成教育助成金に関する事項

本件については、令和元年9月13日～同年11月15日までの2ヵ月間、

当財団ウェブサイトにおいて公募を行い、合計49件の応募申請を受け付けた。

- 1) 財団賞の申請・・・・・・・・・・22件
- 2) 研究奨励金の申請・・・・・・・・11件
- 3) 共同研究奨励金の申請・・・・・・2件
- 4) 素形材融合分野奨励金の申請・・・・3件
- 5) 特定課題研究奨励金の申請・・・・3件
- 6) 大学院生海外研修助成金の申請・・・・7件
- 7) 科学技術育成教育助成金の申請・・・・1件

10. 「選考委員会(2019年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金の贈呈および同年度下期大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金の交付)」に関する事項

本件については、前項における2019年度財団賞(学術賞・技術賞・奨励賞)・研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金および同年度下期大学院生海外研修助成金、科学技術育成教育助成金の応募申請49件につき選考委員全員の査読審査を経た後、令和2年1月17日に選考委員会を開催した。各選考委員による選考委員会の審議・審査の結果、以下の34件が採択され、理事会に付議することで決定された。

① 2019年度財団賞候補

本件は、財団賞申請22件のうち、学術賞に名古屋工業大学のKalita Golapはじめ5件、技術賞に株式会社クリエイトエンジニアリングの栗田 省三はじめ5件、奨励賞にファインセラミックスセンターの小川 貴文はじめ4件の計14件を採択

② 2019年度研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金および特定課題研究奨励金候補

本件は、研究奨励金に産業技術総合研究所の赤松貴文はじめ7件、共同研究奨励金に産業技術総合研究所の且井宏和他1名グループはじめ2件、素形材融合分野奨励金に愛知工業大学の玉森 聡他1件、特定課題研究奨励金に豊橋技術科学大学の太田 廉他2件の計14件を採択

③ 2019年度下期大学院生海外研修助成金および科学技術育成教育助成金候補

本件は、大学院生海外研修助成金に豊橋技術科学大学の安藤将太はじめ5件、科学技術育成教育助成金に豊田工業高等専門学校的女子中学生のためのモノづくり講座の1件が申請通り計6件を採択

なお、同日付で、選考委員長より審議・審査結果書の提出とともに選考委員会議事録が作成された。

11. 「理事会(2019年度財団賞等贈呈、同年度下期助成金交付決定)」に関する事項

前記の選考委員会による2019年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金・

素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金の贈呈および同年度下期大学院生海外研修助成金、科学技術育成教育助成金交付の採択結果に基づき、定款第39条第2項および第3項に則り、令和2年1月29日付にて各理事に対し選考委員会審議結果の報告とともに本件の決定についての議案を提案、理事全員から原案に対する同意書が提出されたため、添付資料に記載の贈呈者・交付者に助成することを令和2年2月4日付で承認可決した。

なお、贈呈・交付金額については、財団賞の学術賞に1件あたり金70万円を5件、技術賞に1件あたり金50万円を5件、奨励賞に1件あたり金30万円を4件、研究奨励金に1件あたり金30万円を7件、共同研究奨励金に1件あたり金70万円を2件、素形材融合分野奨励金に1件あたり金50万円を2件、特定課題研究奨励金に1件あたり金100万円を3件の計28件に対し総額1,470万円の贈呈、また、大学院生海外研修助成金は欧州・米国圏は1件あたり金15万円を計5件、科学技術育成教育助成金は金30万円を1件の交付として、それぞれ決定した。なお、理事長は同日付で理事会議事録を作成した。

12. 2019年度下期大学院生海外研修助成金・科学技術育成教育助成金の交付に関する事項

本件については、令和2年2月4日の理事会決議に基づき、2019年度下期大学院生海外研修助成金(5件)および科学技術育成教育助成金(1件)の各助成金交付者に対し「助成金交付決定通知」を行うとともに「助成金交付申請書」の提出を求め、その申請に基づき各交付者の渡航日の1ヵ月前までに助成金を交付することとした。

なお、助成金交付者6件は令和2年度の交付予定となる。

13. 令和元年度助成事業の実績等に関する事項

当年度事業における財団賞・奨励金・助成金については、助成計画20,000千円(52件/うち予備1,100千円)に対し、総額19,800千円(50件/予備費は特定課題研究奨励金に補てん)の助成実績となった。

14. 2019年度財団賞・研究奨励金・共同研究奨励金贈呈式・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金に関する事項

本件については、令和2年2月4日の理事会決議に基づき、2019年度財団賞(学術賞・技術賞・奨励賞)受賞者および研究奨励金・共同研究奨励金・素形材融合分野奨励金・特定課題研究奨励金の贈呈者に対し、令和2年2月4日に各贈呈決定通知を発送するとともに、令和2年3月3日にホテルオークラレストランにおいて贈呈式を行う予定であったが、新型コロナウイルス対応策として開催を中止した。

15. 「理事会」に関する事項

本件は、令和2年3月3日にホテルオークラレストランにおいて、以下の報告

事項を報告し、決議事項については審議提案予定であったが、新型コロナウイルス対応策として開催を中止した。令和2年3月3日付で、下記の報告事項・決議事項について報告とともに本件の決定についての議案を書面にて提案、理事全員から原案に対する書面にて同意書が提出されたため、令和2年3月10日付で承認可決した。

報告事項

1. 令和元年度事業報告の件
2. 令和元年度収支決算見込み報告の件

決議事項

- | | |
|-------|---------------------|
| 第1号議案 | 令和2年度事業計画案承認の件 |
| 第2号議案 | 令和2年度収支予算案承認の件 |
| 第3号議案 | 令和元年度余剰金を基本財産へ繰入れる件 |
| 第4号議案 | 令和2・3年度選考委員選任の件 |

以 上